

学会年次大会開催報告書

1.大会概要

大会名：〇〇学会年次大会

テーマ：「〇〇〇〇における最新の研究と実践報告」

■開催期間：2025年10月1日～10月5日

■開催場所：東京大学駒場キャンパス

■主催：〇〇学会

■共催：東京大学大学院情報学環

■後援：文部科学省、東京都教育委員会、AppleJapan、日本マイクロソフト

2.参加者数

■総参加者数：2,500名

・国内参加者：2,000名

・海外参加者：500名

・学生参加者：300名

・一般参加者：500名

3.プログラム内容

■基調講演：

・講演者：〇〇教授（〇〇大学）

・講演タイトル：「〇〇〇〇の未来」

・概要：〇〇教授は、最新の研究成果と今後の展望について講演し、参加者から高い評価を得ました。

■シンポジウム：

- ・ テーマ：「〇〇〇〇における最新の研究」
- ・ パネリスト：〇〇教授（〇〇大学）、〇〇博士（〇〇研究機関）、〇〇氏（〇〇企業）
- ・ 概要：各パネリストがそれぞれの専門分野から最新の研究成果を発表し、活発な議論が行われました。

■ワークショップ：

- ・ テーマ：「〇〇〇〇技術の実践」
- ・ 講師：株式会社〇〇〇〇CTO 最高技術責任者〇〇〇〇氏
- ・ 概要：参加者は実際に〇〇技術を体験し、実践的なスキルを習得しました。

4.成果と評価

■研究発表数：250 件

- ・ 口頭発表：100 件
- ・ ポスター発表：150 件

■参加者の評価：

- ・ アンケート結果：参加者のXX%が「非常に満足」と回答
- ・ コメント：「〇〇の講演が非常に有益だった」「ネットワーキングの機会が多く、非常に有意義だった」
- ・ 特筆すべき点：多くの参加者が、次回大会への参加意欲を示しました。

5.財務報告

■収入：

- ・ 参加費： 一般参加者 8,000 円（500 名）
学会員 6,000 円（2,000 名）

- ・ スポンサーシップ : 1,500,000 円

- ・ 助成金 : 600,000 円

- ・ その他収入 : 350,000 円

■ 支出 :

- ・ 会場費 : 3,000,000 円

- ・ 印刷費 : 5,000,000 円

- ・ 講師謝礼 : 100,000 円

- ・ 広報費 : 2,000,000 円

- ・ ボランティア交通費 : 120,000 円

- ・ その他経費 : 200,000 円

■ 収支 :

- ・ 収入合計 : 18,450,000 円

- ・ 支出合計 : 10,420,000 円

- ・ 収支差額 : 8,030,000 円

6. 今後の課題と展望

■ 課題 :

- ・ 参加者数の増加に伴う会場のキャパシティ問題

- ・ 国際参加者への対応強化

- ・ オンライン参加者へのサポート体制の充実

- ・ 企業、団体からのスポンサーシップの獲得

■ 展望 :

- ・ 次回大会の開催地と日程の検討

- ・ 新たな研究分野のセッション追加

・ハイブリッド形式の導入による参加者の多様化

以上。